



# 特集 英語って楽しい Let's Study English!

写真は、はごろも小学校、  
宜野湾中学校の英語の授業  
の様子です。  
11月は『ぎのわん教育月  
間』、市民の教育に対する関  
心と理解を深め、本市教育の  
充実と発展を図るため、11月  
1日を『ぎのわん教育の日』  
として定めている。11月は教  
育の日に対応しい取り組み  
を行います。人材育成は学  
校・家庭・地域の三位一体、社  
会全体で取り組むことが必  
要です。  
今月は、宜野湾市教育委員  
会の取り組みについて知念  
春美教育長にお話を聞きま  
した。

## 人として成長させることが 我々の大きな責務

**本** 市では「創造性・国際性に富む人材の育成」を理念に、平成16年度から英語教育特区の認定を受け、平成21年度から英語教育課程特例校事業として継続しています。小学校1年生から外国語活動を取り入れることで、小中学校一貫した系統的な英語教育に取り組んでいます。

小学校では、1～4年生までは週1時間、5～6年生は週2時間の外国語活動の時間を取り入れ、外国語指導助手（ALT）、日本人英語教師（JTE）を各学校に配置し、学級担任と連携した外国語活動を実施しています。さらに、市内全ての小学校5・6年生を対象に児童英検を実施（検定料全額補助）しています。

中学校では、中学生英語ストーリーコンテスト、英検検定料の半額補助（年3回）、中学校短期海外留学派遣事業を実施しています。

その成果として、中学校生徒のスピーチレベルが上がり、英検の受検者数・合格者数が大幅に増加、高校卒業レベルとされる英検2級の合格者も増加しています。

子どもたちを人として成長させることが我々の大きな責務です。特に中学校の短期海外留学派遣事業は、どうすれば子どもたちが「夢のある未来」を創り出せるかという考えから市の単独事業として始まりました。本事業は今年で13年目となり、延べ119名の生徒が留学しています。留学後の

感想には、海外で異文化に触れ、外国の方との交流を深めることで積極性が増し、その後の学校生活も意欲的になったとあります。事業の成果は彼らの素晴らしい成長で、正に人材育成事業です。

一方で、留学費用の半額、約30万円の自己負担があることを理由に、能力や資質があるにもかかわらず、経済的な理由で留学を断念せざるを得ないという残念なケースもありました。

そこで今回「ガバメントクラウドファンディング」を活用したふるさと納税により、全国の皆さまからのご寄附を頂き、留学費用の自己負担を無くし、市内の中学生に平等に海外留学のチャンスを与えることができると考えています。

本市としては、今後も学校・家庭・地域が、学びや活動をおして、つながり、支え合いながら、夢の実現に向けて未来を切り開くことのできる人材、そして地域から世界につながり活躍できる人材の育成を目指します。

### Interview



教育長  
知念 春美

市内外の小学校、普天間第二小学校の校長を経て、平成28年4月1日に宜野湾市教育長に女性として初めて就任。